

【患者さん・ご家族へ】

～～ 「症例報告」についての御説明 ～～

私たちは、「症例報告」という形を通して、治療の成果や治療中に起きた問題などについて、医療者同士が経験を共有します。共有することで、診断や医療安全などの水準を向上し、治療方法の検討などを行い、解決の糸口を見つけないかと考えています。

そうした目的のために患者さんの診療情報（症状経過、処方内容、検査データなど）を、患者さん個人が特定されない形にして（個人情報保護して）、「症例報告」に活用させていただきたいと思います。

具体的には、

◆症例検討会や学会などの場で、スライドを用いた口頭・ポスター発表で報告

◆医学雑誌などに、文章で報告

といった方式をとります。

発表の際、患者さん個人が特定されないように（個人情報保護のために）、次のような配慮・工夫をします。

- ☐ 氏名 …イニシャルも含めて提示しません。
- ☐ 生年月日および住所 …提示しません。
- ☐ 年齢 …「〇歳代」などのおおよその形で提示します。
- ☐ 日付 …「X年2月」といった、具体的な年代は分からない書き方にします。
- ☐ 地名 …医療機関名や地域名などについては、「A病院」「B県」などの記載を用います。
- ☐ 家族歴・職業歴など …症例報告に必要な不可欠な事項に限定します。
- ☐ 画像・検査データ・その他の診療情報 …必要な場合に最小限の部分だけ提示することがあります。患者番号や氏名といった個人を特定可能な情報は削除します。顔写真など、容易に個人を特定できる写真は使用しません。

また、症例報告へのご協力は自由です。お断りになっても診療上の不利益がないこととお約束いたします。また、一度同意した場合でも、後で取りやめることができます。ただし、同意取りやめの時点で報告済みの情報や、切り離してしまって誰の情報かわからない情報については、削除できない場合があります。

以 上

～～ 症例報告への同意書 ～～

1. 私は担当医師から、医療水準の向上・医療者の育成などの目的で、私の診療情報を症例報告に活用したいという申し出を受けました。

2. 私は担当医師から、次のような説明を受けました。

●症例報告の場合（症例検討会や学会、医学雑誌など）や形（口頭、文章）、診療情報の利用方法、個人を特定されない形にすること（個人情報保護の方法）

●同意するかどうかは自由であり、同意せず断ったり、一度同意した後に同意を取りやめたりする場合にも診療上の不利益は生じないということ

●同意取りやめの時点で報告済みの情報や、切り離してしまっても誰の情報かわからない情報については、削除できない場合があること

3. 私は、以上を理解した上、診療情報を症例報告へ用いることに同意します。

日付 2020年 6 月 13 日

担当医師 署名 上杉篤史

患者 署名 [REDACTED]

代諾者 署名 [REDACTED] (続柄 [REDACTED])